

❖ 東京発！光輝く元気な企業事例集

このサイトでは、東京都の中小企業支援施策を活用したことがある企業経営者等にインタビューを行い、事例集として情報発信を行っています。

東京都産業労働局商工部

頑張る東京の中小企業を応援します！東京都産業労働局商工部ホームページはこちら。

[2011年1月17日取材]

フルハイビジョンの耐熱カメラで、工業炉内の「見える化」を実現 【株式会社セキュリティージャパン】

ベンチャー技術大賞

江東区

製造業(機械)

会社概要

株式会社セキュリティージャパンは、1983年に現代表である下川幹男氏によって創業。翌年よりSONY製CCDビデオカメラの製品販売、及び加工製品の製造・特殊応用製品の開発を開始しました。その後、超小型ヘッド分離カメラの開発に着手。以降このカメラの各種応用分野への販売も開始し、無人搬送システム・管内検査システムなど、多種のカメラの開発を手掛けています。

1996年、現在の主力製品である「ファーンスコープ」の商標登録を行い、同時に特許を申請。鉄鋼メーカーや硝子メーカーのコークス炉や熱風炉、溶解窯などに導入され、韓国、台湾、インド、インドネシア、タイランド、アメリカなどの海外への輸出販売を始めました。

さらに2008年には、高解像度フルハイビジョンカメラを用いて、耐熱カメラ装置を開発。フルハイビジョンを使用したものは世界的にも例が少なく、鮮明な映像により工業炉内の「見える化」を実現させました。その結果、製造現場の品質管理を飛躍的に改善し、現場の負担軽減にも貢献。大手自動車関連メーカーや建設会社等から多数の引き合いをもらうことになりました。現在は耐冷、耐熱を併せ持つ-60℃から+200℃までの連続監視可能な熱冷カメラの開発にも着手しており、新たな市場開拓に取り組んでいます。



江東区東陽にある株式会社セキュリティージャパン。同社の代表取締役を務める下川幹男氏



営業部事業の岩見守和氏。ベンチャー技術大賞受賞について、わかりやすく説明して頂いた



同社が取り扱っている監視カメラ。熱に耐えられるよう先端にカメラが取り付けられている



社内の様子。ベンチャー技術大賞の受賞によって、会社の信用度も高まったという

❖ 企業情報

企業名	株式会社セキュリティージャパン
住所	東京都江東区東陽5-13-12
電話番号	03-3547-4545
資本金	2500万円
従業員数	10名
売上高	-
代表者名	下川 幹男(シモカワ ミキオ)

ホームページアドレス	http://www.security-japan.com
主要製品	耐熱カメラ(炉内型FSシリーズ 炉内型HRSシリーズ) 耐冷熱カメラ

◇ 支援施策を利用した狙い

東京都ベンチャー技術大賞について知ったのは、東京都から案内通知のDMが届いたことがきっかけです。元々当社では外回りの営業展開などは行わず、ホームページを見て問い合わせを頂いた方だけをご対応していました。しかし、社内的にも積極的に外に出て、PR活動を行おうという気運が出始めていたので、タイミングとしても非常に良いタイミングでした。さらに広報・宣伝としての効果だけではなく、受賞をすれば賞金を頂けることも大きな利点でした。

ただし、参加するためには直近5年以内の新商品が必要ということだったので、社内で緊急会議を開きました、そして、今までの技術にハイビジョンカメラを組み込めば、それは新しい技術と言えるのではないかという結論に至り、「ハイビジョン対応 耐熱カメラ」を開発し、応募したのです。

◇ 支援活用の効果

ベンチャー技術大賞で奨励賞を取ることでニュースバリューになり、有用な営業ツールにもなりました。さらに、この賞にノミネートをした企業は、同年の産業交流展で無料でブースを出せるので、多くの方にご覧頂くことができました。

さらに、その産業交流展では、東京都中小企業振興公社のビジネスナビゲーターの方に、実際に製品を見ていただき、ニューマーケット開拓支援事業(※1)への登録を勧められました。その後、実際に登録を進め、22年4月には認定を受けることができました。認定製品になると、製品ごとに説明会が行われるのですが、当社の製品はこの説明会が始まって以来の参加者数とのことで、反響も大きかったです。現在は、各業界への紹介活動を行って頂いています。22年度には東京都トライアル発注認定制度(※2)の認定も受け、実際に首都大学東京で購入頂いています。



2009年の東京都ベンチャー技術大賞で奨励賞を受賞した「ハイビジョン対応 耐熱カメラ」

当社としては、今回のような種をまいていく営業ビジネスは新しいことでしたが、人を雇わずに営業できる、ありがたい支援でもありました。また、奨励賞を受賞できたことで、行く先々で実績ある製品として反応を得ることができます。会社の信用度がワンステップ上がることも非常に魅力的でした。

(※1)ニューマーケット開拓支援事業

「ビジネスナビゲータ」が中小企業の優秀な製品、高度な技術力を商社・メーカー等に積極的に紹介することにより、新しい販路先の開拓を支援。また、「売れる製品・技術」にするためのアドバイスも行う

(※2)東京都トライアル発注認定

中小企業の新規性の高い優れた新商品の普及を応援するため、都が新商品を認定してPR等を行うとともに、一部を試験的に購入し、評価する制度

◇ 今後の展望

ベンチャー技術大賞に応募した時は、ハイビジョンが工業用カメラの最高画素だったのですが、現在はハイビジョンより高画素な500万画素のモデルも販売をして、実績もできてきています。今後も、さらに高画素のカメラが出てくれば、それをういて製品化することがメインになってくると思います。さらに、元々当社は画像処理が専門分野ですので、カメラによって映し出される炉内の明るさと推定温度をマッピングして炉内の温度を見える化する、耐熱カメラ対応ソフトのシステム販売も行っていきたくと思っています。

また、今は自動車産業を中心に-60℃～+200℃までの評価実験が非常に重要となっているのですが、現在は一つでその実験を監視できるカメラがありません。九州工業大学様との共同研究で連続試験検査ができる耐熱耐冷カメラを開発しております。

さらに、今後の海外への販売進出に向けて、知的財産権についても学んでいます。当社と似たような製品を作らせないため、東京都中小企業振興公社で行われている知的財産のセミナーを受けているところです。

お問い合わせ

東京都産業労働局商工部創業支援課 TEL:03-5320-4763

[ホーム](#) | [問い合わせ先](#) | [リンク](#) | [このサイトの利用に関して](#) | [サイトマップ](#)

Copyright©2010-2011 TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT All rights Reserved.